

令和6年度 事業実績報告書

令和7年6月

社会福祉法人

早島町社会福祉協議会

目 次

◆早島町社会福祉協議会 令和6年度事業総括

- ▶基本理念（P.1）
- ▶経営理念（P.1）
- ▶基本姿勢（P.1）
- ▶事務局重点項目（重点目標）（P.2）
- ▶介護事業部 セクション別重点項目（重点目標）（P.3～5）

◆令和6年度事業実績

I. 会務の運営

1. 役職員による法人運営（P.6～8）
 - （1）理事会の開催
 - （2）評議員会の開催
 - （3）評議員選任・解任委員会の開催
 - （4）役員の研修・セミナー参加
 - （5）早島町内社会福祉法人連絡協議会の連携支援

II. 地域福祉事業

1. 広報事業活動の推進（P.8～9）
 - （1）社協だより発行
 - （2）ホームページ等による福祉情報の発信
 - （3）地域福祉活動計画の周知
 - （4）早島の匠ミニギャラリーの開催
2. 会費・寄付・募金の収受（P.9～10）
 - （1）住民会員・会費の募集
 - （2）一般寄付等の受納
 - （3）共同募金運動（赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金）の推進
3. 新たな“つながり”づくりの支援（P.10～11）
 - （1）食を通じた新たなつながりづくりの創造
 - （2）スマートフォン講座の開講と活用支援
 - （3）歳末フードドライブ及び歳末フードパントリー
4. 住民参画型生活支援活動の支援（P.12～13）

- (1) 外出支援活動の支援
- (2) 暮らしの応援団活動の支援
- (3) 暮らしの応援カフェの運営支援

5. 福祉活動員活動 (P.14)

- (1) 福祉活動員協議会活動

6. 地区福祉活動の支援 (P.14～16)

- (1) 高齢者給食サービス活動の支援
- (2) ふれあい・いきいきサロン活動の支援
- (3) 夏季一斉友愛訪問活動
- (4) 秋のちょこっとお助け訪問活動
- (5) 地区福祉活動の支援

7. 福祉啓発(教育)の推進 (P.16～17)

- (1) 夏のボランティア体験
- (2) 福祉教育への協力支援
- (3) コミュニケーション麻雀の普及推進
- (4) 障がい者作品展の開催

8. ボランティア活動の支援 (P.18)

- (1) ボランティア保険の加入支援
- (2) 福祉ボランティアグループ活動の支援
- (3) ボランティア活動に関する相談・調整
- (4) ボランティア活動の人員

9. 福祉団体活動の支援 (P.18)

- (1) 福祉当事者団体活動の支援
- (2) 福祉団体活動の支援

10. 在宅福祉サービス事業 (P.19)

- (1) 福祉有償運送事業
- (2) 福祉用具貸出サービス

11. 福祉相談及び福祉サービスの利用援助 (P.20～21)

- (1) 生活福祉資金貸付事業
- (2) 日常生活自立支援事業

12. 職員の研修・セミナー参加 (P.21)

13. 地域福祉センターの管理運営 (P.21～22)

- (1) 施設利用

- (2) 備品・用具の貸出
- (3) 防災活動
- (4) 施設修繕・改修

Ⅲ. 介護サービス事業

1. 居宅介護支援事業 (P.23)

- (1) 介護保険-居宅介護支援事業
- (2) 介護保険-介護予防居宅介護支援事業【早島町受託事業】

2. 通所介護事業 (P.24)

- (1) 介護保険-通所介護事業
- (2) 介護予防・日常生活支援総合事業
- (3) 介護保険外サービス事業
- (4) ボランティア協力の受入

3. 訪問介護事業 (P.25～28)

- (1) 介護保険-訪問介護事業
- (2) 介護予防・日常生活支援総合事業
- (3) 介護予防・日常生活支援総合事業-生活支援事業
- (4) 介護保険外サービス事業
- (5) 障がい者総合支援-居宅介護事業
- (6) 障がい者総合支援-重度訪問介護事業
- (7) 障がい者総合支援-移動支援事業（外出支援）

早島町社会福祉協議会 令和6年度事業総括

▶ 基本理念

お互いが支えあい 安心して 幸せに暮らせる 住みよい地域をつくれます。

▶ 経営理念

本会役職員は、基本理念に則り地域福祉事業の推進と介護保険事業の充実・発展を図るとともに、安定した法人運営に心がけてまいります。

▶ 基本姿勢

町村の社会福祉協議会は地域の中核としての役割が期待されており、コロナ禍の影響から脱却しつつある社会において、取り残される人がないように、町民に寄り添った支援活動を展開します。特に、災害対策、生活困窮対策、孤独・孤立対策を重点的に取り組みます。

また、地域における「包括的支援体制の構築」は行政との共有目標でもあり、社会福祉協議会はその中心的役割を期待されます。行政、民間事業者、地域住民との橋渡しとしての役割を果たせるよう、必要な措置を講じます。

地域福祉活動においては、地域の福祉的役割を担う人材の確保が難しくなりつつある現状に鑑み、持続可能な地域福祉活動の構築を目指します。必要に応じて現在の取り組みを見直し、必要な事業に必要な人材及び活動資金が確保できるよう、検討と検証を重ねていきます。特に、防災活動においては、地域の自助・共助を促進し、災害発生時の被害の軽減と被災後の復興における中核的な役割を果たせるよう、体制を整えます。

介護保険事業においては、介護人材の確保・育成・定着を図るため、働き方改革を推進します。全国で人材不足による介護サービス事業所の閉鎖が相次いでいます。介護サービス従事者の負担軽減及び処遇改善を図り、地域におけるサービスを維持し、さらに行政や他の事業所と連携・協力し、町全体でのサービスの充実を目指します。

早島町社会福祉協議会の拠点である早島町地域福祉センター「オアシス早島」は、地域福祉の象徴です。町民のための施設として町民に愛され、町民の心の拠り所となることを使命とし、施設本来の機能の維持・管理に努めます。

(令和6年度事業計画書より抜粋)

■ 事務局重点項目（重点目標）及び達成度

事務局重点項目（重点目標）	達成度
1）生活困窮者支援の模索と地域との連携方法の検討 コロナ禍の影響を受け、休業や失業により生活が困窮した生活福祉資金特例貸付の借受世帯をはじめ、地域で孤立する方の発見や支援のあり方を模索します。また、複合課題を抱えるケース対応を組織内で共有し、外部の専門支援機関と連携した支援を進めます。 また、アフターコロナに向けた交流活動の持続可能な継続に向けて、活動者と協議を続けます。加えて、災害時対応に向け、地域や福祉活動者への情報発信や要援護者の情報共有等の連携方法を検討します。	地域福祉活動推進部門に、生活福祉資金特例貸付償還業務担当を配置し、県社協と連携して借受世帯のアウトリーチを進めました。今後も生活実態の把握や償還免除申請の補助等を継続します。更に、地域における孤独・孤立対策のデータとしても活用できるよう、法人内や、行政との情報共有や対策の協議を進めていきます。 地域におけるサロン活動等は、新型コロナ禍の制限を脱し、活気を帯びていますが、福祉活動員と民生・児童委員で行う友愛訪問については福祉マップの作製に終始しました。データベースの構築と継続的な支援策については令和7年度の事業計画に位置付けています。
2）労務環境の改善と事務局業務体制の再考 働きやすい環境づくりを目指し、現場の実情に沿うよう就業規則を適宜見直し、適正な運用を図るとともに、職員のワークライフバランスに配慮しながら業務の効率化や生産性の向上に努めます。 また、法人運営、施設管理等の総務、労務管理や経理、地域福祉推進の業務を少人数の兼務で行う事務局において、昨年度、業務体制の見直しを行いました。法人運営と地域福祉の業務を再考し、相互に分断することなく、相談と協働ができる体制づくりを進めます。	労務関係の規程類は随時改定をしており、賃金を含めた職員の処遇の改善を進めました。特に、介護職員処遇改善加算は国の制度が変わったことを機に、より上位の加算を算定し介護事業部門の職員の賃金を改善しました。育児・介護休業法の改正により、育児中の職員の休暇の対象が広がりました。 法人運営については、まだ多くの課題を残しているものの、理事会、評議員会といった会議の運営は法令に適合させ、会計や人事・労務についても鋭意改善中です。地域福祉活動推進部門においては、町の進める包括的支援体制の確立に向け、事業の再評価を行い、とりわけ孤独・孤立対策に注力できるよう、事業の選別を行いました。

■介護事業部 セクション別重点項目（重点目標）

	介護事業部重点項目（重点目標）	達成度
居宅介護支援	1）業務負担の軽減と職員のモチベーション維持・定着 早期の入退院連携、離職やヤングケアラーに対する家族支援など業務範囲が多岐にわたるなかでも、業務負担が過重にならないよう進捗状況の確認と、担当件数を調整することで、利用者に寄り添った支援と、職員が安心して働ける環境を目指します。引き続き、組織としてできること・できないことを整理し、職員間で助言・協力・情緒的なサポートを行うことにより、職員一人一人のモチベーション維持、定着を図ります。	必要な研修に参加しながら通常業務も実施できるよう、事業所内ミーティングによる情報共有と、業務の進捗状況の確認を行い、担当件数の調整と業務負担の軽減を図った。 事業所内ミーティングの他、支援に悩むときにはチーム内での支援の方向性を適宜検討し、また職員間で助言・協力し合うことで情緒面を含めたサポートが行われ、職員体制が維持できた。
	2）多様化する個別課題への取り組みと自己決定支援 生活困窮や介護離職、家族関係の複雑化など、多様化する課題に対応していけるよう、地域包括支援センターや各関係機関と連携・協働するとともに、他制度に関する知識を深めていくよう努めます。利用者・家族の意向を適切に把握し、医療職・介護職と共有しながら、自己決定・意思決定に向けた支援に取り組み、利用者の重度化予防・自立支援に向けた適切なケアプランの作成、質の高いケアマネジメントを実施していきます。	虐待防止や感染症対策、災害時等の業務継続計画、高齢者以外の支援に関する知識等、令和6年度の制度改正に伴い義務化された研修への参加、訓練を実施した。 介護支援専門員の業務範囲や倫理観についても、チーム内や職員間で適宜検討するとともに、地域包括支援センターや協働する医療職・介護職とも情報共有を図り、自己決定・意思決定に向けた支援、適切なケアプランの作成、質の高いケアマネジメントに努めた。
	<運営状況総括> - 要介護認定者の契約締結は47件（前年度▲14件）、契約解除は59件（前年度＋5件）、月平均件数は170.4件（前年度▲3.1件）。契約解除件数の内訳は、入所27件、永眠18件、長期入院1件、軽度化（要支援移行・サービス利用終了）8件、小規模多機能居宅への変更3件、転出1件、その他1件。 - 要支援認定者の受託は新規11件、終了12件。月平均件数は29.6件（前年度＋0.1件）。終了の内訳は、要介護移行9件、軽度化（非該当への移行・サービス終了）2件、転居1件。	

	介護事業部重点項目（重点目標）	達成度
デイサービスセンター	1) 職場環境の改善と安定した経営 今年度から新たに、虐待防止、感染症・食中毒防止などの委員会活動と、認知症や入浴介助の研修が義務付けられました。 義務化された業務を滞りなく実施できるように、日常業務のムダを洗い出し、取り組む時間を確保します。また、ムラ・ムリを見直すことで、職員の負担軽減とサービスの質の維持に努めます。併せて管理者の業務についても見直しを行い、法人運営部門の専門性を活かした分業制を取り入れ、管理者が現場に係る時間を確保します。	- 各種委員会活動や研修は、内部会議の時間や終業後外部のリモート研修を活用し、継続的に実施することが出来た。 - 法人運営部と役割分担し、分業体制が進みつつあったが、経理職員が退職したため、請求書や支出に関する書類の確認や、予算明細書作成などは引き続き管理者が行う結果となった。 - 夏場の入浴を、湯船に浸からずシャワーに変更し、入浴に係る時間の短縮と、湯船に入って付き添う事による体の負担を軽減した。ムダ、ムラについての見直しは引き続きの課題となった。
	2) 職員体制を整備し、活気あるチームを作る 管理者の後任を含め、看護・介護職員の補充が必要な状況です。欠員が出て必要に迫られて募集するのではなく、時間をかけて、将来につながる人材を確保する仕組みを作り、人財確保につなげます。 また、短時間労働希望者や終業時の片付けを担う高齢労働者の起用など、柔軟な採用をすることで介護、看護の職員が専門の業務に当たる時間を確保します。 職員体制を整備して、安心して働くことが出来る職場を作り、新しく職員を迎え入れることで職員の意欲の向上につなげます。	- 年間通して介護職員の募集はしなかった。看護職員については職員の補充が急がれたため3月に1名を採用した。 - 管理者の後任は内部から選任の予定で進めていたが交代できていない。 - 夏場の入浴介助は職員の負担も大きく、部分的に補える人員を確保しておきたかったが、次年度へ向けて受け入れ人数を減らす事も検討していたため職員の募集をかけなかった。
	<運営状況総括> - 通所介護と総合事業対象者をあわせた1日あたりの平均利用者数は26.1人（前年度比－1.2人） - 上半期は一日の利用者数30人超えを維持できて好調だったが、下半期に調理委託料の見直しを図るため、利用者数を縮小する案があり、新規受入を一時的に止めた。また、年末以降、入院や入所が相次いだため利用者数が伸びなかった。	

	介護事業部重点項目（重点目標）	達成度
ホームヘルパーステーション	1) 職場環境の改善による安定したサービスの提供 人口減少に伴う人材不足が危惧される中、ヘルパーは最も深刻な職種といえます。新規ヘルパーの確保に努めながら、現職については納得のできる働き方ができるよう負担の軽減や処遇の改善を図り、離職を防ぎ安定したサービスの提供を目指します。	・登録ヘルパーが1名家庭の事情で退職したが、新たに1名登録ヘルパー希望の問い合わせがあった。 ・次世代のヘルパー確保には至っていないので引き継ぎの課題となっている。 ・現職ヘルパーに対してはできるだけ希望に沿ったシフトを作成しているが、早朝夜間帯の利用者が増加傾向にあるため、その時間帯の対応について協力要請を行った。 ・常勤ヘルパー間のミーティングを行い情報の共有や不安の解消はできたが、日常業務に追われ登録ヘルパーの報連相に十分な対応できておらず次年度の課題となった。
	2) 経営安定化及びヘルパーの質の向上 令和6年度介護報酬改定により訪問介護の基本報酬は減額となります。地域へのサービス提供が滞ることのないよう、経営安定化、サービスの安定供給に努め、社協としての役割を果たせるように努めます。 また、研修への参加や介護における専門的な資格の取得など、ヘルパーとしてのスキルを向上させ、質の高いホームヘルパーステーションを目指します。	・令和6年度新規利用者のうち90%ほどが早島町内の方だった。ケアマネジャーと連携し柔軟なサービスを行った。 ・利用者アンケートでは「満足している」といった回答が多かったが、一部「事業所への要望が言いにくい」と回答された方がおられたので改善課題となっている。 ・慢性的な人材不足から外部研修の参加と資格の取得はできなかったため次年度への加課題となったが、ヘルパー定例会での内部研修に重点を置き研鑽を行った。
	〈運営状況総括〉 ・新規契約が23件あったが、中止・死亡・入所された方が23件あった。短期利用者が目立ったが、新規のうち身体介護毎日型の利用者が複数あったため収入に影響はなかった。	

◆令和6年度事業実績

I. 会務の運営

1. 法人運営

〔1〕理事会の開催

開催日／出席数	決 議 事 項
令和6年 6月 5日 出席理事8名（8名中） 出席監事2名（2名中）	◇令和5年度事業実績報告（案）について ◇令和5年度一般会計収支決算報告（案）について ◇規程類の一部変更（案）について ◇令和6年度第1次補正予算（案）について ◇理事の退任及び後任理事の推薦（案）について ◇評議員選任・解任委員の選任について ◇令和6年度定時評議員会の開催（案）について
令和6年 8月 9日 出席理事 9名（10名中） 出席監事2名（2名中）	◇令和6年度第2次補正予算（案）について ◇規程類の一部変更（案）について ◇定款の一部変更（案）について ◇令和6年度第2回評議員会の開催について
令和6年11月29日 出席理事 9名（10名中） 出席監事2名（2名中）	◇評議員候補者の選定について ◇評議員選任・解任委員会の開催について ◇規程類の一部変更（案）について
令和7年 3月25日 出席理事 9名（10名中） 出席監事2名（2名中）	◇令和6年度第3次補正予算（案）について ◇令和7年度事業計画（案）について ◇令和7年度収支予算（案）について ◇規程類の一部変更（案）について ◇理事退任に伴う後任理事の推薦について ◇令和6年度第3回評議員会の開催（案）について

〔2〕評議員会の開催

開催日／出席数	決 議 事 項
令和6年 6月21日 出席評議員13名（18名中） 出席理事2名 出席監事2名（2名中）	◇令和5年度事業実績報告（案）について ◇令和5年度一般会計収支予算報告（案）について ◇規程類の一部変更（案）について ◇令和6年度第1次補正予算（案）について ◇理事の退任に伴う後任理事の選任について
令和6年 8月22日 出席評議員14名（18名中） 出席理事2名 出席監事2名（2名中）	◇令和6年度第2次補正予算（案）について ◇定款の一部変更（案）について ◇規程類の一部変更（案）について
令和7年 3月31日 出席評議員12名（12名中） 出席理事2名 出席監事1名（2名中）	◇令和6年度第3次補正予算（案）について ◇令和7年度事業計画（案）について ◇令和7年度収支予算（案）について ◇規程類の一部変更（案）について ◇理事の退任に伴う後任理事の選任について

〔3〕評議員選任・解任委員会の開催

開催日／出席数	決 議 事 項
令和6年12月 4日 出席委員3名（3名中） 出席理事2名	◇定数変更に伴う評議員の退任について

〔4〕役員の研修・セミナーへの参加

- ・R6.5.20 「市町村社協事務局長会議」
- ・R6.7.30 「市町村社協機能強化セミナー」
- ・R6.9.10 「岡山県経営者協議会経営者セミナー」（前期・後期）
- ・R6.12.18 「市町村社協経営基盤強化セミナー」
- ・R7.2.4 「市町村社協会長・常務理事・事務局長会議」

〔5〕早島町内社会福祉法人連絡協議会の連携支援

（1）参加法人名（運営施設名）

- ①社会福祉法人 戸川児童福祉会（早島保育園）
 - ②社会福祉法人 中野社会福祉協会（かんだ保育園・わかみや保育園）
 - ③社会福祉法人 敬仁会（特別養護老人ホーム白亜館・デイサービスセンターはくあ）
 - ④社会福祉法人 リンク（早島地域生活支援センター・ヒトノワ・With 広場早島）
 - ⑤社会福祉法人 早島町社会福祉協議会（地域福祉活動推進部門・居宅介護支援センター・デイサービスセンター・ホームヘルパーステーション）
- ※④「社会福祉法人 リンク」は、オブザーバーとして参画。

（2）実施結果

①幹事会

開催日／出席者数／会場	協議事項
総会 令和6年8月26日（月） ／7名／オアシス早島	◇令和5年度事業報告及び決算について ◇令和6年度事業計画及び予算について ◇業務用貸出車両の運営規定の変更について ◇フードバンク事業の運営方法の変更について ◇防災活動における法人間連携について
幹事会 令和7年2月21日（金） ／7名／オアシス早島	◇社会福祉法人連携間について ◇重層的支援体制整備事業の展開について ◇カスタマーハラスメントの対応について

②フードバンク事業

- ・フードバンク事業は、特定の世帯に利用が集中した上、規約を守らないなどの理由により直接支援を中止。行政等の斡旋に限り、緊急一時的な支援を行うこととしている。
- ※対象を変えて取り組んでいるフードパントリーについては9ページ「3.新たな“つながり”づくりの支援／〔1〕食を通じた新たなつながりづくりの創造」参照。

③業務用車両貸与事業

事業見直しのため一時中止

Ⅱ．地域福祉事業

1．広報事業活動の推進

〔1〕社協だより発行

- ◇第133号（夏 号） 令和6年 6月下旬発行（5,200部）
- ◇第134号（秋 号） 令和6年10月下旬発行（5,200部）
- ◇第135号（新春号） 令和6年12月下旬発行（5,200部）
- ◇第136号（春 号） 令和7年 3月下旬発行（5,200部）

〔2〕ホームページ等による福祉情報の発信

計画や担当職員の再検討のため現在は中断

〔3〕地域福祉活動計画の周知

開催日	行事名／場所
令和6年 4月18日(木)	早島町福祉活動員協議会総会／オアシス早島
令和6年 5月14日(火)	見守り推進会議／ゆるびの舎
令和7年 3月12日(水)	サロン活動者研修会／オアシス早島

〔4〕早島の匠ミニギャラリーの開催

令和6年度は開催実績なし。今後は案件・依頼ごとに対応することとなった。

2. 会費・寄附・募金の収受

〔1〕住民会員・会費の募集

区 分	会員数	口 数	金 額
賛助会費・団体	34件	1口	68,000円
合 計	34件	1口	68,000円

〔2〕一般寄附等の受納

区 分	件 数	金 額
一般寄附	6件	183,857円
満中陰志	1件	10,000円
合 計	7件	193,857円

〔3〕共同募金運動（赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金）の推進

（※岡山県共同募金会-早島町共同募金委員会事務）

①赤い羽根共同募金実績

募金種別	募金額内訳	前年度比
戸別募金	913,562円	▲23,029円
街頭募金	3,470円	▲2,391円
法人募金	266,900円	▲78,998円
学校募金	28,018円	▲1,950円
職域募金	110,850円	▲5,950円
イベント募金	11,250円	▲4,000円
個人募金	28,543円	14,377円
その他の募金	27,392円	▲44,111円
通帳利息	4円	▲4円
合 計	1,389,989円	▲146,052円

②歳末たすけあい募金実績

募金種別	募金額内訳	前年度比
戸別募金	810,439円	▲114,483円
個人募金	11,500円	11,500円
通帳利息	1円	0円
合 計	821,940円	▲102,985円

③共同募金運動推進活動

開催日	行事名	募金実績
令和6年10月1日（火）	街頭募金（早島駅前）	3,470 円
令和6年11月3日（日）	イベント募金（いきいき広場）	11,250 円

3. 新たな“つながり”づくりの支援

〔1〕食を通じた新たなつながりづくりの創造

①フードバンク寄付受付数

分類	実績（内訳）
寄付受付回数	36回
食品受付数	1,172 点
寄付者数（団体）	7団体（早島町環境上下水道課、早島町総務課、岡山県社会福祉協議会、 かんだ保育園、岡山コープ、妙法寺、早島町社会福祉協議会）
寄付者数（個人）	4名

②フードバンク利用申込数

分類	実績（内訳）
利用申込回数	42回
食品提供数	541 点
実利用者数	8名

※中断前の実績

③ほっとパントリー

開催年月日	令和7年2月22日（土）
開催場所	地域福祉センター「オアシス早島」1階多目的室・ボランティア室
対象者	町内在住の子育て世帯対象者（児童扶養手当・早島町ひとり親家庭医療費給 付、早島町就学援助の利用世帯）
申込世帯数	11世帯
配布内容	白米3kg、フードバンク寄付食品より数点

〔2〕スマートフォン講座の開講と活用支援

開催日	分類	受講者数	サポーター数
令和6年 5月23日（木）	第1期基本編第1回	18	2
令和6年 5月30日（木）	第1期基本編第2回	17	3
令和6年 6月13日（木）	第1期特別編第1回	23	3
令和6年 6月27日（木）	第1期特別編第2回	23	3
令和6年 7月25日（木）	第1期特別編第1回	16	6
令和6年 8月 8日（木）	第1期特別編第2回	17	6
令和6年 9月19日（木）	第2期特別編①第1回	11	2
令和6年 9月26日（木）	第2期特別編①第2回	13	2

令和6年10月24日（木）	第2期特別編②第1回	4	0
令和6年10月31日（木）	第2期特別編②第2回	4	1
令和6年11月28日（木）	第2期特別編③第1回	10	2
令和6年12月12日（木）	第2期特別編③第2回	9	2
令和7年 2月20日（木）	第3期 相談会	18	0
講座開催数：13回		延べ183名	延べ32名

〔3〕歳末フードドライブ及び歳末フードパントリー

地域歳末たすけあい運動の一環として歳末フードドライブ（食品寄付の受付）及び町内の子育て世帯を対象とした歳末ほっとパントリー（食料品の無償配布）を実施した。

①歳末フードドライブ

開催年月日	令和6年12月2日（土）から令和6年12月7日（土）
開催場所	地域福祉センター「オアシス早島」
寄付者数	6名
寄付食品数	29点

②歳末ほっとパントリー

開催年月日	令和6年12月16日（月）から令和6年12月21日（土）
開催場所	地域福祉センター「オアシス早島」1階多目的室・ボランティア室
対象者	町内在住の子育て世帯対象者（児童扶養手当・早島町ひとり親家庭医療費給付、早島町就学援助の利用世帯）
申込世帯数	9世帯
配布内容	白米3kg、レトルト食品3食分、歳末フードドライブ寄付食品・フードバンク寄付食品より数点

4. 住民参画型生活支援活動の推進

〔1〕外出支援活動の支援

(1) 外出支援活動検討会の開催

開催日	主な検討事項
令和6年 4月23日(火)	・福祉有償運送事業の実施状況とサロン等送迎活動
令和6年 5月21日(火)	・福祉有償運送事業の実施状況とサロン等送迎活動
令和6年 6月18日(火)	・福祉有償運送事業の実施状況とサロン等送迎活動
令和6年 7月23日(火)	・福祉有償運送事業の実施状況とサロン等送迎活動
令和6年 8月27日(火)	・福祉有償運送事業の実施状況とサロン等送迎活動
令和6年 9月24日(火)	・福祉有償運送事業の実施状況とサロン等送迎活動
令和6年10月22日(火)	・福祉有償運送事業の実施状況とサロン等送迎活動
令和6年11月19日(火)	・福祉有償運送事業の実施状況とサロン等送迎活動
令和6年12月24日(火)	・福祉有償運送事業の実施状況とサロン等送迎活動
令和7年 1月21日(火)	・福祉有償運送事業の実施状況とサロン等送迎活動
令和7年 2月18日(火)	・福祉有償運送事業の実施状況とサロン等送迎活動
令和7年 3月18日(火)	・福祉有償運送事業の実施状況とサロン等送迎活動

(2) 利用状況等実施結果

○給食サービス利用者送迎実績

利用団体：6団体

延べ運行回数：190回（前年比－44回）

○サロン利用者送迎実績

利用団体：2団体（前年度比＋1団体）

延べ運行回数：8回（前年比＋4回）

〔2〕暮らしの応援団活動の支援

○定期活動

支援内容	実利用者数	延べ利用件数	実活動者数	延べ活動者数	備 考
ゴミ出し	16名	550件	5名	550名	原則可燃物のみ
買い物代行	1名	24件	2名	24名	
話し相手	0名	0件	0名	0名	
合 計	17名	574件	7名	574名	

○不定期活動

支援内容	実利用者数	延べ利用件数	実活動者数	延べ活動者数	備 考
支払い代行	1名	3件	1名	3名	シルバー人材センター
家屋内整理掃除	10名	10件	10名	21名	不要物分別・搬出等
家屋等修繕	3名	9件	4名	10名	電灯取替・簾の取り付け
庭・植栽整備	7名	11件	12名	25名	草刈り、植栽伐採等
合 計	21名	33件	27名	59名	

○地区活動（買い物サロン）

地区名	延べ購入者数	開催回数	実活動者数	延べ活動者数	備 考
金 田	259	73回	4	16	水曜日
塩 津	430	45回	4	166	水曜日
長 津	68	45回	0	0	水曜日
片 田	193	52回	2	67	火曜日
備南台	242	45回	1	45	水曜日
真磯台	222	45回	2	97	水曜日
樽 島	249	45回	0	0	水曜日
宮 崎	282	45回	4	97	水曜日
三軒地	171	52回	1	49	火曜日
塩 地	226	52回	0	0	木曜日
無 津	320	52回	1	52	木曜日
大 池	199	52回	1	49	木曜日
久々原	333	51回	1	50	土曜日
市 場	276	51回	0	0	土曜日
矢 尾	76	51回	0	0	土曜日
前 湯	97	45回	0	0	土曜日
下前湯	116	45回	0	0	土曜日
舟 本	310	52回	0	0	火曜日、土曜日
小 浜	247	52回	0	0	火曜日、土曜日
頓 行	323	45回	0	0	土曜日
合 計	4,639名	1,046回	21名	591名	

〔3〕暮らしの応援カフェの運営支援

（1）茶話会等開催実績

開催日／参加者	主な検討事項
令和6年 4月10日（水） ／住民20名・専門職2名	・総会（役員の選任等） ・活動報告、活動募集
令和6年 6月10日（月） ／住民15名・専門職1名	・定例会 ・活動報告、活動募集
令和6年10月10日（火） ／住民14名・専門職2名	・定例会 ・活動報告、活動募集
令和6年12月10日（水） ／住民9名・専門職3名	・定例会 ・活動報告、活動募集
令和7年2月10日（月） ／住民15名・専門職2名	・定例会 ・活動報告、活動募集

（2）参加者数

○実参加者数：31名 述べ加者数：148名

5. 福祉活動員活動

定例会等開催実績

開催日／参加者等	活動区分	主な内容等（研修テーマ）
令和6年 4月18日（木） ／48名	定例総会	事業計画及び予算案協議、役員の補充選任等 研修「社会福祉協議会の事業と福祉活動員の役割」
令和6年 5月14日（火） ／52名	見守り 推進会議	福祉マップの作成、夏季一斉友愛訪問
令和6年 6月 ／74名	夏季一斉友愛 訪問活動	（訪問先：避難行動要支援者名簿掲載者等）
令和7年 3月19日（水） ／39名	定例会	今年度の振り返りと次年度活動について

6. 地区福祉活動の支援

〔1〕高齢者給食サービス活動の支援

（1）活動実績

団体名	利用者数	提供者数	延べ実施回数	延べ利用者数	延べ提供者数
クローバー	17名	5名	22回	302名	108名
コスモス	15名	11名	22回	265名	189名
スプリング	10名	5名	21回	195名	104名
マスカット	27名	4名	22回	626名	83名
ひまわり会	38名	5名	22回	735名	104名
スマイル若宮	26名	20名	22回	526名	162名
合計：6団体	133名	50名	139回	2,649名	750名

（2）連絡会等開催実績

①第1回／給食ボランティア連絡協議会

開催年月日	令和6年8月19日（月）
開催場所	地域福祉センター「オアシス早島」2階調理実習室
参加者	12名（6グループ）
内 容	・食品衛生研修「食中毒予防と正しい手洗いについて」 ・協議（上半期の活動の振り返りと意見交換）

②第2回／給食ボランティア連絡協議会

開催年月日	令和7年3月17日（月）
開催場所	地域福祉センター「オアシス早島」2階会議室
参加者	12名（6グループ）
内 容	・協議（下半期の活動の振り返りと意見交換）

〔2〕ふれあい・いきいきサロン活動の支援

(1) サロン活動団体（合計21団体）

サロン名	開催場所	対象地域	延べ利用者数	延べ協力者数	実施回数	活動内容
四つ葉会前潟	前潟公民館	前潟・下前潟	29	39	5	茶話会、講話等
しゃべろうかい	宮崎公民館	宮崎	90	18	10	茶話会、ゲーム等
中山ふれあいサロン さつき会	中山集会所	中山	47	14	5	茶話会、オカリナ演奏等
いきいきサロン市場	さつき荘	市場	62	27	6	クリスマス会等
弁天井戸端喫茶	弁才天公民館	弁才天	44	30	11	室内活動等
サロン・ひだまり	備南台公民館	備南台	139	48	16	部会活動等
日笠山さくら会	日笠山公民館	日笠山			3	茶話会
喫茶とよく	頓行公民館	頓行	108	67	10	創作活動、季節行事
いきいきサロン三軒地	三軒地公民館	三軒地	73	30	10	創作活動等
塩津いきいきサロン	塩津公民館	塩津	182	80	10	季節行事
いきいきサロン久々原	久々原公民館	久々原			3	茶話会
片田ふれあいサロン	片田公民館	片田	77	22	8	清掃活動等
舟本コミュニケーション クラブ	舟本早島	舟本	43	12	4	講話
喜楽亭	大谷荘	若宮	578	240	10	ウクレレ演奏等
ふれあいサロン樽島	樽島公民館	樽島	94	10	5	茶話会等
金田いきいきサロンにじ	西コミュニティハウス	金田	96	6	7	室内活動、創作活動
長津・畑岡ほっとサロン	いぶき荘	長津・畑岡	128	99	11	講話、創作活動等
イトーピア早島サロン	イトーピア集会所	イトーピア	140	54	12	茶話会、創作活動、季節行事
サロン矢尾	矢尾公民館	矢尾				休止
下野のんびり友の会	下野公民館	下野				休止
すまいるサロン小浜	3匹の子ブタ	小浜	131	84	12	観光ウォーキング等
合 計 / 延べ利用者数 2,061 人 / 延べ協力者数 880 人 / 実施回数 158 回						

(2) 連絡会 開催実績

ふれあい・いきいきサロン意見交換会

開催年月日	令和7年3月12日(水)
開催場所	地域福祉センター「オアシス早島」2階会議室
参加者	23名(17団体)
内 容	・活動実践紹介(小浜サロン、金田サロン) ・出前講座講師派遣団体の紹介(カラオケクラブ、コミュニケーション麻雀を広める会)

(3) 助成金交付実績

289,000 円(17団体)

〔3〕夏季一斉友愛訪問活動

開催年月日	令和6年5月下旬から12月末
訪問対象者数	743 人/28地区 ※令和6年4月1日時点で概ね70歳以上の方で見守りが必要と考えらえる方 避難行動要支援者名簿に掲載されている方
訪問活動者数	民生委員21名、福祉活動員74名

〔4〕秋のちょこっとお助け訪問活動

活動員の負担軽減のため、秋のちょこっとお助け訪問活動は、依頼ごとに通年行う活動へ移行した。

〔5〕地区福祉活動の支援

地域包括支援センター主催の小地域ケア会議に参加 12地区(自治会・町内会単位)

7. 福祉啓発(教育)の推進

〔1〕夏のボランティア体験

実施結果

体験期間	令和6年7月20日(土)から8月25日(日)
受入協力先	＜施設ボランティア＞ 計12施設・機関 早島保育園/早島幼稚園/わかみや保育園/かんだ保育園/早島児童館/早島町地域活動支援センター「梅檀の家」/早島町生涯学習課(わくわくサマータイム)/特別養護老人ホーム白亜館/早島町デイサービスセンター/早島町社会福祉協議会(スマホ講座・車いす体験)/アートチャイルドケア岡山早島児童プラザ/生活介護事業所ぬかつくるとこ ＜地域ボランティア＞ 計6団体 パソボラはやしま/はやしま本だいすきの会/給食ボランティア(コスモス・クローバー)/備中はやしま夏まつり実行委員会/手話ボランティアいぐさ/若宮まちづくりの会
体験申込者数	138名 ＜体験者内訳＞中学生132名、高校生6名
体験申込数	延べ199件

〔2〕福祉教育への協力支援

実施結果

①出前福祉講座「視覚障害」

開催年月日	①令和6年5月30日（火）、②令和6年6月11日（火） ③令和6年6月19日（水）
開催場所	早島小学校ランチルーム・体育館
内容	①社協職員による「障害について」のオリエンテーション ②アイマスク・白杖を使用した視覚障害（ロービジョン）の模擬体験 ③盲導犬ユーザーによる講話／講師：盲導犬友の会
参加者	早島小学校4年生児童150名、本会職員5名（事務局・訪問）

②出前福祉講座「車いす体験」

開催年月日	令和6年10月16日（水）
開催場所	早島小学校体育館、校庭及び外周
内 容	車イス操作方法の説明、車イス使用による小学校外周の走行体験
参 加 者	早島小学校4年生児童149名、本会職員5名（事務局、訪問介護）

③福祉講座「バリアフリー探索」

開催年月日	令和6年10月8日（火）、令和6年10月11日（金）
開催場所	早島町地域福祉センター館内
内 容	施設見学（バリアフリー設備・ユニバーサルデザインの探索と説明）
参 加 者	早島小学校4年生児童149名、本会職員3名（事務局）

〔3〕コミュニケーション麻雀の普及推進

	普及行事名等	参加者数	備 考
4月	楽しむ会（4回）	23名	定例会
5月	楽しむ会（5回）	22名	定例会
6月	楽しむ会（4回）	28名	定例会
7月	楽しむ会（4回）	22名	定例会
8月	楽しむ会（5回）	27名	定例会
9月	楽しむ会（4回）	23名	定例会
10月	楽しむ会（5回）	23名	定例会
11月	楽しむ会（4回）	35名	定例会
12月	楽しむ会（3回）	19名	定例会
1月	楽しむ会（4回）	21名	定例会
2月	楽しむ会（4回）	38名	定例会
3月	楽しむ会（4回）	28名	定例会

〔4〕障がい者作品展の開催

開催実績1回（12月3日～9日）

展示団体3団体：早島町身体障がい者協議会、早島支援学校、喜楽会（難病の会）

※今後は会期を定めず、案件・依頼ごとに対応することとなった。

8. ボランティア活動の支援

〔1〕ボランティア保険の加入

・加入者数計：493名（個人加入：11名 団体加入：23団体 482名）

〔2〕福祉ボランティアグループ活動の支援

◆活動助成額合計：141,500円（4団体）

- ・パソボラはやしま
- ・コミュニケーション麻雀を広める会
- ・はやしま朗読ボランティア福来朗
- ・運転ボランティアくるりん

〔3〕ボランティア活動に関する相談・調整

○個人相談（個人の生活を支援する人材の調整件数）

相談者（世帯数）	依頼事項等	調整内容	調整件数
生活困窮者世帯（1世帯）	庭・植栽整備	庭の草取り・集積	1件
独居高齢者世帯 （13世帯）	ゴミ出し・買い物代行・ 庭・植栽整備等	生活支援ボランティア の派遣調整	574件
高齢者世帯（2世帯）	電球交換・窓ふき	生活支援ボランティア の派遣調整	5件
障がい者世帯（0世帯）			0件
複合課題世帯（3世帯） ※複数の課題がある世帯	家屋内整理・家屋外清掃	生活支援ボランティア の派遣調整	5件
合 計			19世帯／585件

※福祉有償運送事業はP.21に記載

〔4〕ボランティア活動の人員

分 野	具体的取組み	新規所属団体	新規人数
福祉活動員	自治会への推薦依頼	福祉活動員協議会	40名
福祉ボランティア	福祉有償運転者講習会開催	運転ボランティアくるりん	2名
生活支援活動者	活動呼びかけ	暮らしの応援団	1名
			合計43名

9. 福祉団体活動の支援

〔1〕福祉当事者団体活動の支援

◆活動助成額合計：326,000円（2団体）

- ・ブロンズクラブ（独居高齢者の会）
- ・早島町身体障がい者福祉協会

〔2〕福祉団体活動の支援

◆活動助成額合計：172,000円（2団体）

- ・早島町保護司会
- ・早島町更生保護女性会

10. 在宅福祉サービス事業

〔1〕福祉有償運送事業

利用状況及び収入

サービス月	実利用者数	運行回数	利用料収入（円）
4月	4名	16回	14,980円
5月	6名	14回	12,630円
6月	5名	15回	17,000円
7月	5名	14回	20,370円
8月	4名	14回	13,900円
9月	4名	26回	13,150円
10月	5名	17回	14,550円
11月	3名	14回	6,260円
12月	7名	18回	19,330円
1月	4名	10回	15,760円
2月	4名	9回	8,650円
3月	4名	14回	14,440円
合 計	55名	181回	171,020円

〔2〕福祉用具貸出サービス

貸出品目と件数

介護用具名	貸出件数
車いす（自走用・介助用・リクライニング）	95件
スロープ	8件
ポータブルトイレ	21件
歩行器（シルバーカー含む）	0件
吸引器	1件
家庭用コードレスチャイム	2件
シャワーチェアー（浴槽台含む）	4件
杖（松葉杖含む）	1件
点滴つり	0件
合 計	132件（前年度比＋37件）

1 1. 福祉相談及び福祉サービスの利用援助

〔1〕生活福祉資金貸付

○生活福祉資金（本則）

貸付資金種類	相談件数	新規貸付	貸付中	償還中
総合支援資金	0件	0件	0件	0件
福祉資金	4件	1件	0件	1件
教育支援資金	3件	0件	0件	0件
不動産担保型生活資金	0件	0件	0件	0件
※旧・離職者支援資金	-	-	-	1件
その他	0件	-	-	-
合 計	7件	0件	0件	2件

※延べ相談対応件数：23件（新規相談及び援助中含む）

○生活福祉資金（特例貸付）

①相談対応状況（単位：件）

月度	アウトリーチ件数				窓口対応件数			
	架電	郵送	訪問	計	相談	電話	他※	計
4月	6	0	3	9	2	2	0	4
5月	39	0	0	39	2	0	0	2
6月	5	0	26	31	5	1	2	8
7月	17	0	1	18	9	4	0	13
8月	23	107	9	32	3	4	3	10
9月	44	0	5	49	6	10	1	17
10月	38	0	5	43	16	7	2	25
11月	16	123	0	139	3	10	18	31
12月	28	0	1	29	8	4	3	15
1月	8	0	0	8	0	3	0	3
2月	19	0	1	20	4	5	6	15
3月	9	0	5	14	3	3	4	10
累計	252	230	56	538	61	53	39	153

②償還状況等（単位：件）

	免除	猶予	償還中	一部免除	滞納中	償還済	免除償還済	猶予後免除	生活保護	債務整理	自己破産	合計
世帯数	7	14	17	2	46	6	45	4	2	4	2	149

※現・町内登録対象世帯数133件／149件

③異動状況（単位：件）

異動	転出	転入	所在不明	死亡
世帯数	15	16	4	1

〔2〕日常生活自立支援事業

①相談対応状況（単位：件）

援助区分	新規相談	新規契約	援助中	契約解除
認知症高齢者	0件	0件	0件	0件
知的障がい者	1件	1件	2件	0件
精神障がい者	1件	0件	1件	0件
その他	0件	0件	1件	0件
合 計	0件	0件	4件	0件

※延べ相談対応件数：136件（新規相談及び援助中含む）

1 2. 職員の研修・セミナー参加

- ・R6.5.10 「令和6年度地域福祉実践研修（基礎編）」（全2回）
- ・R6.6.6 「日常生活自立支援事業実施社協専門員連絡会」
- ・R7.6.20 「令和6年度社協・ボランティアセンター活動強化方策推進会議」（全3回）
- ・R6.6.24 「生活福祉資金担当者研修会」
- ・R6.6.27 「JSCP（自殺対策推進センター）・厚生労働省合同研修会
- ・R6.8.2 「令和6年度共同募金委員会担当職員研修会」
- ・R6.8.2～3 「社会福祉士実習指導者講習会」
- ・R6.10.16 「災害福祉支援の基本研修及び市町村社協災害支援担当者会議」
- ・R6.11.14 「岡山県地域包括ケアシステム普及啓発事業 介護予防交流フォーラム」
- ・R6.12.16 「社会福祉法人会計基準セミナー」
- ・R6.12.20 「令和6年度災害福祉支援における連携・協働促進研修」
- ・R6.12.19 「令和6年度第4回岡山県版福祉教育ガイドブック作成検討会」
- ・R7.1.14 「令和6年度生活困窮自立支援関係機関研修会」
- ・R7.1.31 「法と福祉の連携を学ぶ」
- ・R7.2.14 「子供の貧困対策 中国フォーラム」
- ・R7.2.19 「包括的支援体制・重層的支援体制整備事業セミナー」
- ・R7.2.25 「市町村社協相談支援体制強化推進事業情報交換会」（全6回）
- ・R7.3.1 「災害支援に取り組む人と地域の交流セミナー・災害ボランティア研修」

1 3. 地域福祉センターの管理運営

〔1〕施設利用

団体利用実績

施設名	利用回数	利用人数	平均利用人数
ボランティア室	76回	482名	6.3名
調理実習室	35回	426名	12.1名
会議室	260回	3,337名	12.8名
プレイルーム	145回	988名	6.8名
開放フロア	7回	29名	4.1名

〔2〕 備品・用具の貸出

利用実績

区分	合 計	福祉関係団体	行政関係団体	その他
レクリエーション用具	37 件	19 件	17 件	1 件
機材	11 件	4 件	7 件	0 件
その他	7 件	4 件	3 件	0 件

〔3〕 防災活動

（1）会議・研修等

- ・災害 BCP 検討会（県社協合同、全5回）
- ・災害備蓄品の整備
- ・防災のための研修・セミナーへの参加（P.21 職員の研修・セミナー参加参照）

（2）訓練等

- ・デイスサービス火災避難訓練（R7.2.12、R7.3.17）
- ・BCP 実施訓練（R7.2.26）
- ・指定避難所開設訓練（R6.9.29）

〔4〕 施設修繕・改修

- ・避難誘導灯バッテリー交換（1 か所）
- ・濾過配管漏水緊急対応
- ・浴槽配管つまり抜き
- ・特殊浴槽用リフトバッテリー交換
- ・1F 女子トイレ照明スイッチ交換
- ・AD コントローラー撤去工事（ピークカット自動制御装置）
- ・浴槽石灰除去
- ・全館避難誘導灯 LED 化
- ・一般浴室照明器具交換
- ・会議室照明器具故障箇所修繕
- ・職員通用口・事務所出入口・会議室・プレイルーム鍵交換
- ・会議室テーブル追加購入（破損廃棄7台分補填のため）
- ・会議室ホワイトボード追加購入（破損廃棄3台分補填のため）

Ⅲ. 介護サービス事業

1. 居宅介護支援事業

〔1〕介護保険-居宅介護支援事業、介護予防居宅介護支援事業【早島町受託事業】

(1) 概況

- ・要介護者については、業務の進捗状況を確認しながら調整を行い、昨年とほぼ同様の担当件数となった。
- ・要支援者については、担当要介護利用者が要支援移行となった場合や、担当要介護利用者の家族であった場合に受託。【早島町受託事業】

(2) 利用状況の推移

サービス月	担 当 件 数	稼 働 率
4月	176件 31件	76%
5月	175件 31件	76%
6月	172件 31件	75%
7月	172件 27件	74%
8月	174件 28件	75%
9月	174件 29件	75%
10月	175件 27件	75%
11月	171件 27件	74%
12月	170件 29件	74%
1月	165件 31件	72%
2月	160件 32件	70%
3月	161件 32件	70%
合 計	2,400件	74%

※稼働率は、ケアマネジャー1人当たりの担当件数上限に対して平均担当率を算出

※令和6年度の介護報酬改定により、担当件数上限は34件から44件に変更、

また担当件数上限のうち、要支援者は3分の1を乗じた数を計上に変更

2. 通所介護事業

〔1〕 通所介護事業・日常生活支援総合事業

(1) 概況

◆年間延べ利用者数：8,044 名（前年度比＋154 名）

(2) 利用状況の推移（上段：要介護1～5、下段：要支援1～2の利用者）

サービス月	開所日数	実利用者数	延利用者数	1日平均利用者数	稼働率 (総合含む)
4月	26日	67名 15名	699名 78名	29.8名	85%
5月	27日	67名 15名	752名 81名	30.8名	88%
6月	25日	83名 15名	767名 74名	33.6名	96%
7月	27日	69名 13名	756名 67名	30.4名	86%
8月	27日	66名 14名	764名 70名	30.8名	88%
9月	25日	63名 13名	665名 62名	29.0名	82%
10月	27日	65名 12名	730名 66名	29.4名	84%
11月	26日	62名 12名	658名 57名	27.5名	78%
12月	24日	59名 12名	575名 52名	26.1名	74%
1月	24日	55名 12名	538名 56名	24.7名	70%
2月	24日	56名 11名	528名 49名	24.0名	68%
3月	26日	55名 10名	610名 46名	25.2名	72%
合計	308日	—	7,286名 758名	26.1名	74%

※1日平均人数は、小数点第2位以下切捨て。

※1日平均人数の合計は、年間延べ人数を開所日数で除した数値を記載。

〔2〕 介護保険外サービス事業

・実績なし

〔3〕 ボランティア協力の受入

・実績なし

3. 訪問介護事業

〔1〕訪問介護事業・日常生活支援総合事業

(1) 概況

◆介護保険サービス年間延べ利用回数：4,313 回（前年度比＋94 回）

総合事業年間延べ利用回数：1,465 回（前年度比－193 回）

(2) 利用状況の推移（上段：要介護1～5、下段：要支援1～2の利用者）

サービス月	実利用者数	訪問回数	訪問時間	目標達成率
4月	34 名	392 回	295.50 時間	112%
	16 名	115 回	94.50 時間	94%
5月	35 名	393 回	299.50 時間	111%
	17 名	107 回	86.50 時間	87%
6月	36 名	352 回	271.75 時間	103%
	18 名	110 回	87.00 時間	109%
7月	35 名	395 回	295.75 時間	113%
	16 名	121 回	97.75 時間	102%
8月	31 名	331 回	348.50 時間	101%
	18 名	124 回	100.25 時間	116%
9月	29 名	291 回	223.75 時間	89%
	17 名	124 回	99.00 時間	114%
10月	28 名	339 回	269.00 時間	98%
	16 名	117 回	89.25 時間	99%
11月	28 名	367 回	294.50 時間	111%
	20 名	121 回	93.25 時間	119%
12月	31 名	388 回	303.25 時間	116%
	18 名	123 回	97.00 時間	117%
1月	30 名	333 回	263.25 時間	100%
	19 名	128 回	99.75 時間	125%
2月	28 名	347 回	270.75 時間	103%
	19 名	131 回	104.00 時間	128%
3月	30 名	385 回	296.00 時間	118%
	19 名	144 回	114.50 時間	124%
合 計	375 名	4,313 回	3431.50 時間	106%
	213 名	1,465 回	1162.75 時間	111%

※目標設定は要介護の利用者が 30 名、要支援の利用者が 17 名

〔2〕介護保険外サービス事業

（1）概況

◆介護保険外（実費）サービスは、介護保険サービスや障害福祉サービスの対象外の方や、保険対象とならないサービスを提供するもので、常時5名程度の利用者があるが、制度の狭間を埋めるための事業であり特に目標を定めていない。

（2）利用状況の推移

サービス月	実利用者数	訪問回数	訪問時間
4月	6名	17回	14.0時間
5月	5名	14回	11.5時間
6月	6名	20回	14.5時間
7月	7名	23回	16.5時間
8月	7名	19回	13.5時間
9月	8名	21回	21.5時間
10月	9名	25回	22.0時間
11月	9名	18回	18.0時間
12月	9名	22回	19.5時間
1月	7名	17回	14.0時間
2月	5名	16回	9.5時間
3月	8名	17回	17.0時間
合計	86名	229回	191.5時間

〔3〕障がい者総合支援-居宅介護事業・重度訪問介護事業

（1）概況

◆障害福祉サービス：年間訪問回数 2,223 回（前年度比+298 回）

重度訪問介護：実績なし

（2）利用状況の推移（上段：居宅介護支援、下段：重度訪問介護）

サービス月	実利用者数	訪問回数	訪問時間（時間）				目標達成率
			身体	知的	精神	合計	
4月	17名 0名	172回 0回	8.00 0.0	81.00 0.0	83.00 0.0	172.00 0.0	94% 0%
5月	17名 0名	200回 0回	11.00 0.0	81.00 0.0	108.00 0.0	200.00 0.0	105% 0%
6月	16名 0名	186回 0回	14.00 0.0	80.00 0.0	92.00 0.0	186.00 0.0	102% 0%
7月	16名 0名	197回 0回	8.00 0.0	88.00 0.0	101.0 0.0	197.00 0.0	108% 0%
8月	17名 0名	194回 0回	7.50 0.0	73.50 0.0	100.25 0.0	181.25 0.0	103% 0%
9月	17名 0名	169回 0回	8.00 0.0	60.00 0.0	99.00 0.0	169.00 0.0	87% 0%
10月	16名 0名	174回 0回	11.00 0.0	77.25 0.0	83.25 0.0	152.50 0.0	89% 0%
11月	18名 0名	195回 0回	12.00 0.0	78.00 0.0	107.50 0.0	178.00 0.0	97% 0%
12月	21名 0名	187回 0回	12.00 0.0	78.00 0.0	98.00 0.0	186.00 0.0	101% 0%
1月	20名 0名	184回 0回	6.00 0.0	80.00 0.0	98.00 0.0	184.00 0.0	102% 0%
2月	19名 0名	172回 0回	8.50 0.0	106.50 0.0	57.50 0.0	172.25 0.0	84% 0%
3月	19名 0名	193回 0回	9.00 0.0	74.00 0.0	89.25 0.0	172.25 0.0	119% 0%
合計	213名 0名	2,223回 0回	114.00 0.0	957.25 0.0	1116.75 0.0	2118.00 0.0	99% 0%

※障害者総合支援サービスのうち重度訪問介護事業は、長時間・年中無休のサービス提供が前提となっており、当ステーションの勤務形態では安定したサービス提供が難しいサービスである。

〔４〕障がい者総合支援-移動支援事業（外出支援）

（１）概況

- ・移動支援は少ないながらもニーズは継続しているが、ここ数年８月・９月は猛暑によりキャンセルされる傾向にある
- ・今年度は１名の方が８月～１１月入院されたため減収となった。

（２）利用状況の推移

サービス月	実利用者数	訪問回数	訪問時間（時間）				目標達成率
			身体	知的	精神	合計	
４月	２名	１５回	26.0	0.0	0.0	26.0	101%
５月	２名	１６回	26.5	0.0	0.0	26.5	103%
６月	２名	１４回	24.8	0.0	0.0	24.8	97%
７月	２名	１６回	29.5	1.5	0.0	29.5	115%
８月	１名	８回	18.5	0.0	0.0	18.5	103%
９月	１名	１回	1.5	0.0	0.0	1.5	9%
１０月	１名	７回	29.5	0.0	0.0	7.0	27%
１１月	２名	８回	10.5	0.0	0.0	10.5	41%
１２月	３名	１５回	14.0	0.0	2.5	16.5	90%
１月	２名	１６回	24.0	0.0	0.0	24.0	92%
２月	２名	１２回	20.5	0.0	0.0	20.5	80%
３月	２名	１１回	20.3	0.0	0.0	20.3	80%
合 計	22 名	139回	223.0	1.5	2.5	225.5	78%